

宮城県の観光の現状

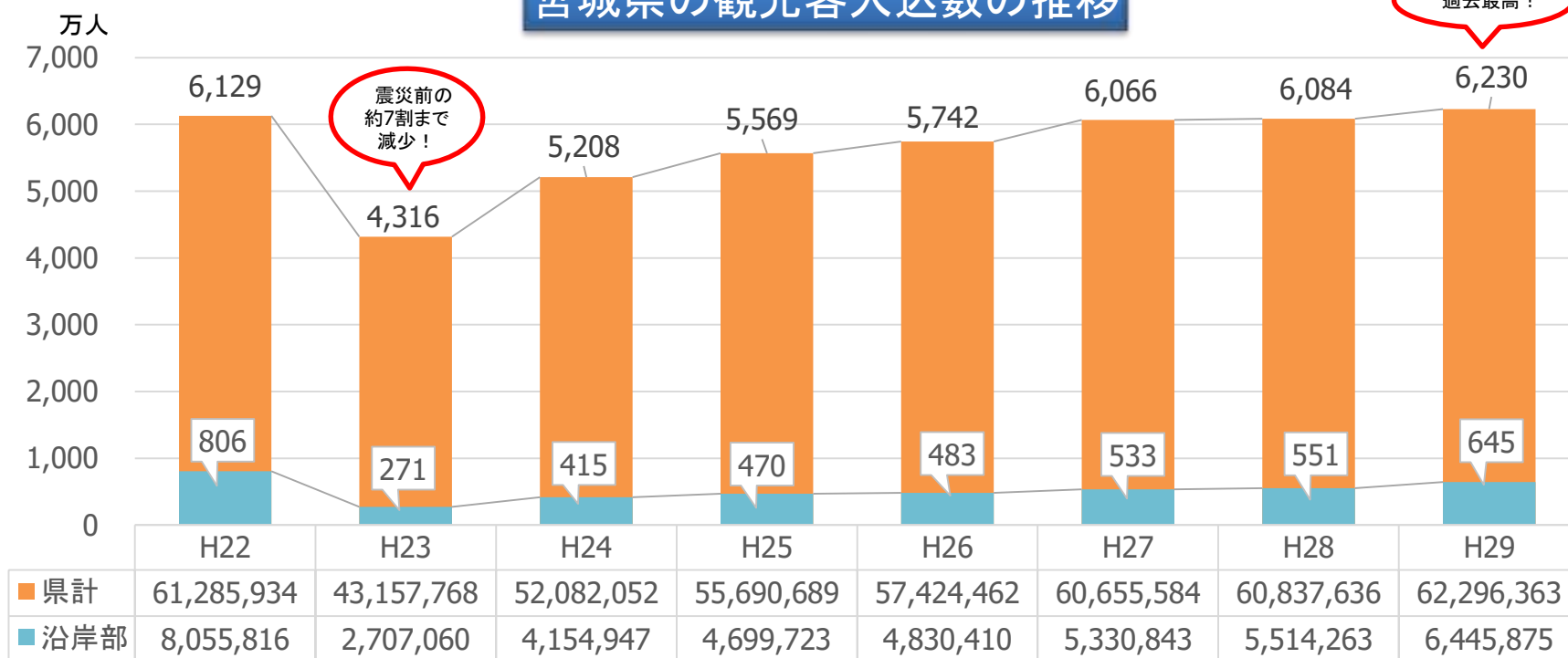
平成30年10月31日
第1回宮城県観光振興財源検討会議



宮城県の観光客入込数

- 宮城県の観光客入込数は、東日本大震災で大きく減少し、震災前(平成22年)の約7割まで減少したが、平成29年には震災前の水準を超え、過去最高を記録した。
- 沿岸部(石巻圏域及び気仙沼圏域)では、東日本大震災により震災前(平成22年)の約3割まで減少したが、順調な回復をみせつつも、震災前の約8割の回復に留まっている。

宮城県の観光客入込数の推移



出典：宮城県観光統計概要

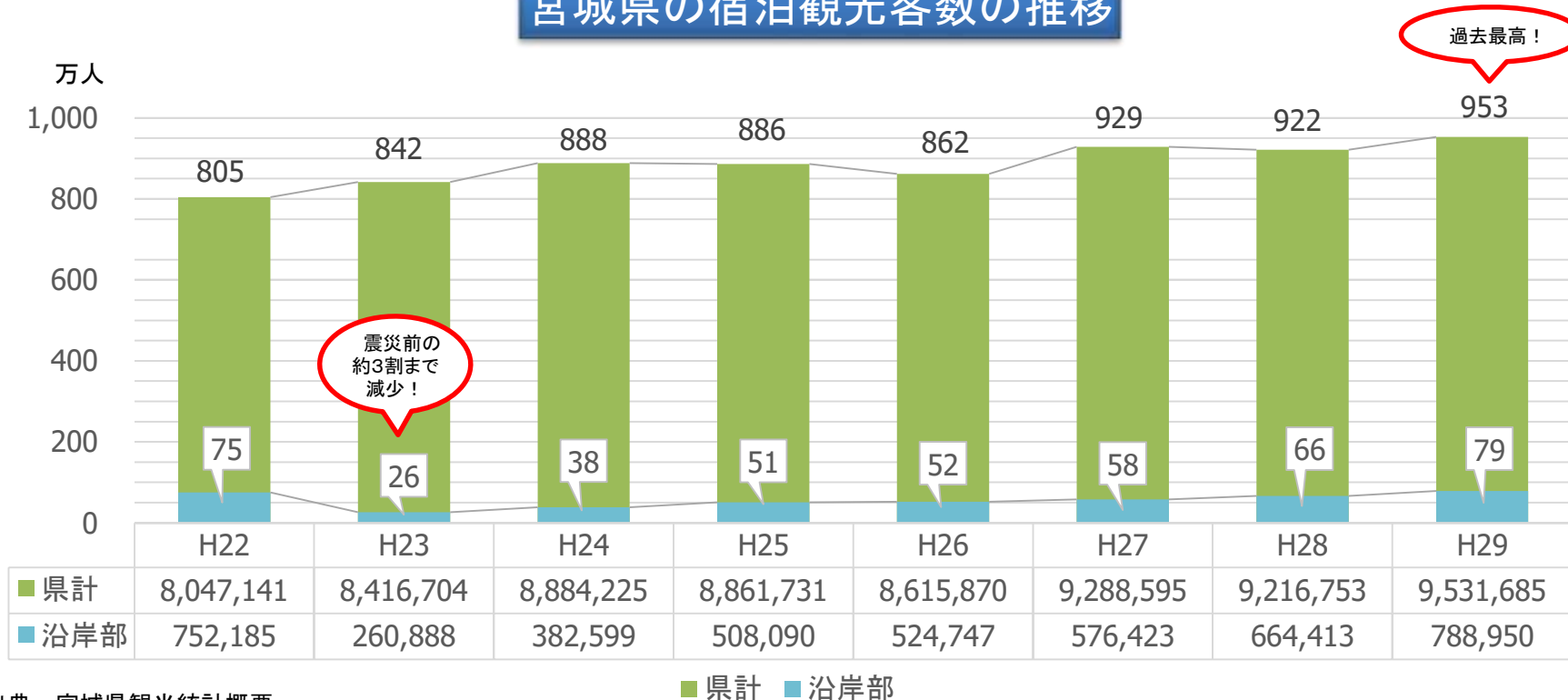
■ 県計 ■ 沿岸部



宮城県の宿泊観光客数

- 宮城県の宿泊観光客数は、東日本大震災後も復興需要などにより増加の傾向にあり、震災前（平成22年）と比較し、約2割（18.4%）の伸びとなっており、過去最高を記録した。
- 沿岸部（石巻圏域及び気仙沼圏域）では、東日本大震災により震災前（平成22年）の約3割まで減少したが、順調な回復をみせ、震災前の水準まで回復している。

宮城県の宿泊観光客数の推移



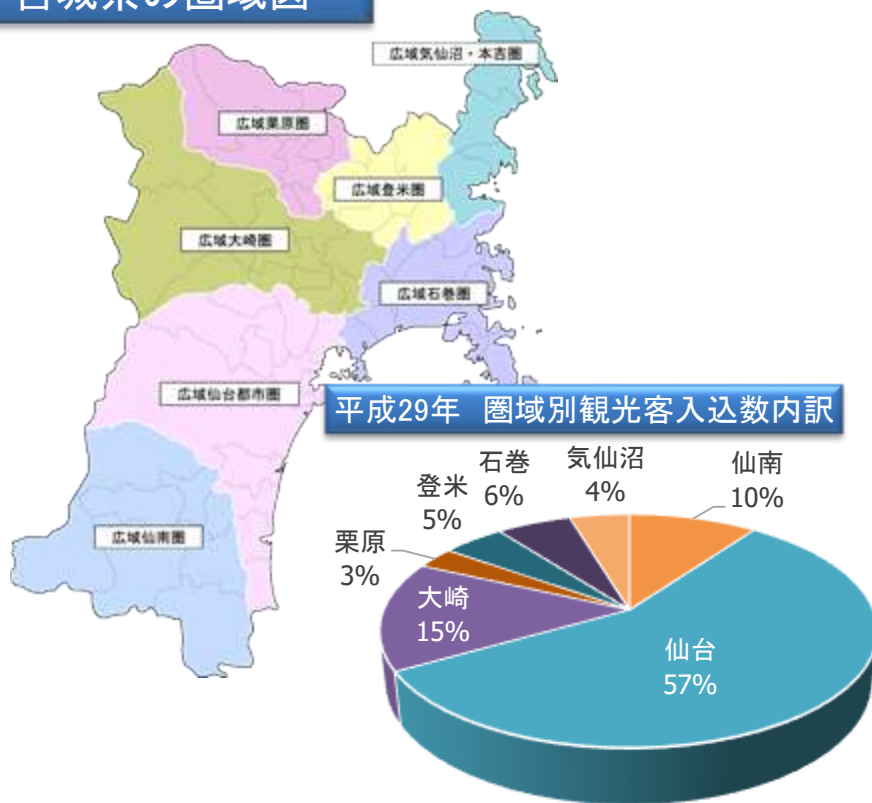
出典：宮城県観光統計概要



宮城県の圏域別観光客入込数・宿泊観光客数

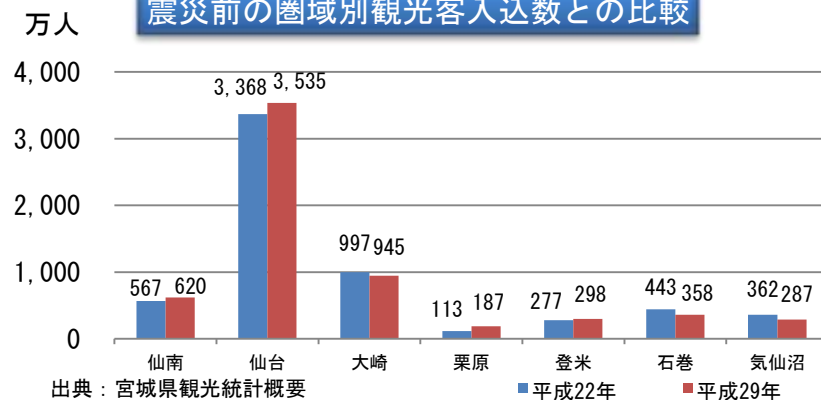
- 圏域別観光客入込数は、仙台圏域が57%と全体の約6割を占め、大崎圏域が15%、仙南圏域10%と続いている。また、震災前(平成22年)との比較では、沿岸部(石巻圏域及び気仙沼圏域)約2割減少しているのに加え、大崎圏域が5%減少している。
- 圏域別宿泊観光客数は、震災前(平成22年)との比較では、沿岸部(石巻圏域及び気仙沼圏域)はほぼ震災前の水準に回復しているが、大崎圏域が約15%減少している。

宮城県の圏域図

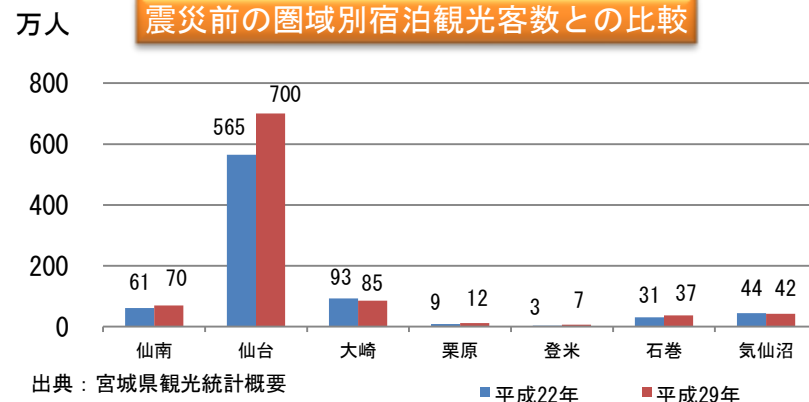


出典：宮城県観光統計概要

震災前の圏域別観光客入込数との比較



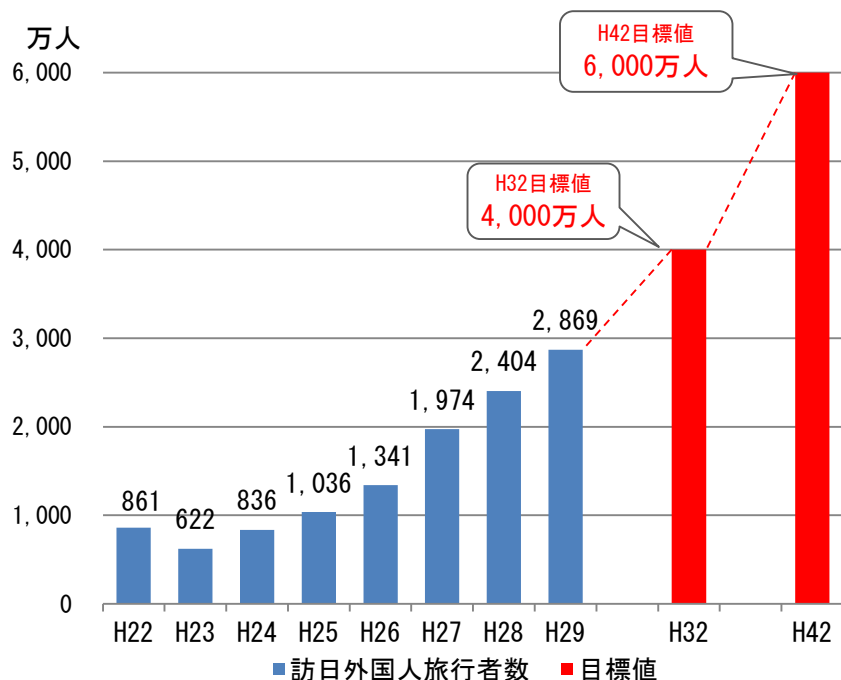
震災前の圏域別宿泊観光客数との比較



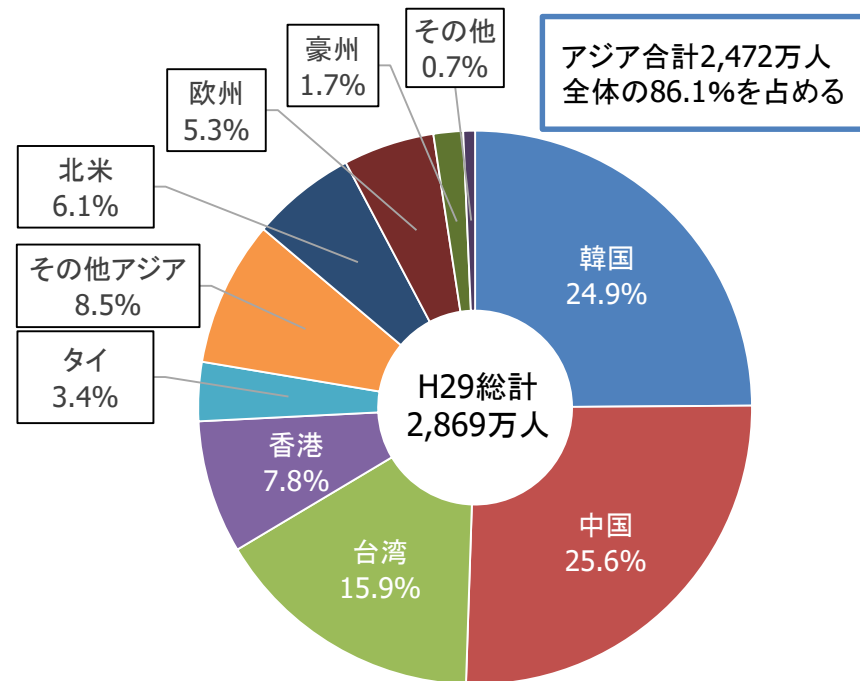
訪日外国人旅行者数

- 平成29年の訪日外国人旅行者数は、過去最高であった平成28年の2,404万人を更に上回る2,869万人(対前年比19.3%増)となり、5年連続で過去最高を更新し、平成32年に4,000万人にするとの目標に向け堅調に推移している。
- 訪日外国人旅行者を国籍別に見ると、中国・韓国・台湾などのアジア諸国が全体の86.1%となっており、北米が6.1%、欧州が5.3%と続いている。

訪日外国人旅行者数の推移



国籍別訪日外国人旅行者の内訳



出典：日本政府観光局（JNTO）年別訪日外客数の推移

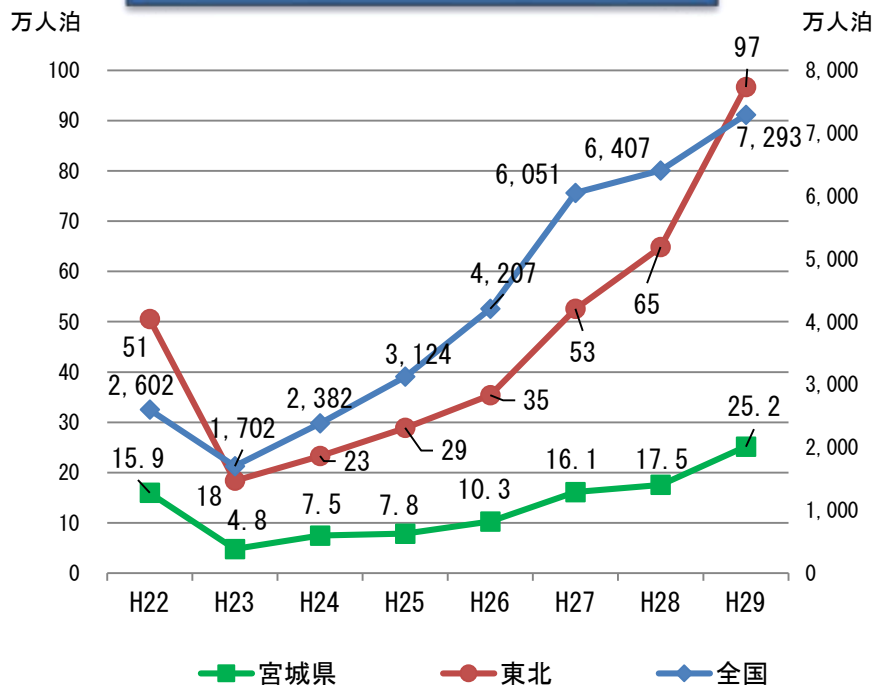
出典：日本政府観光局（JNTO）訪日外客数(2017年)



東北地方の外国人宿泊者数①

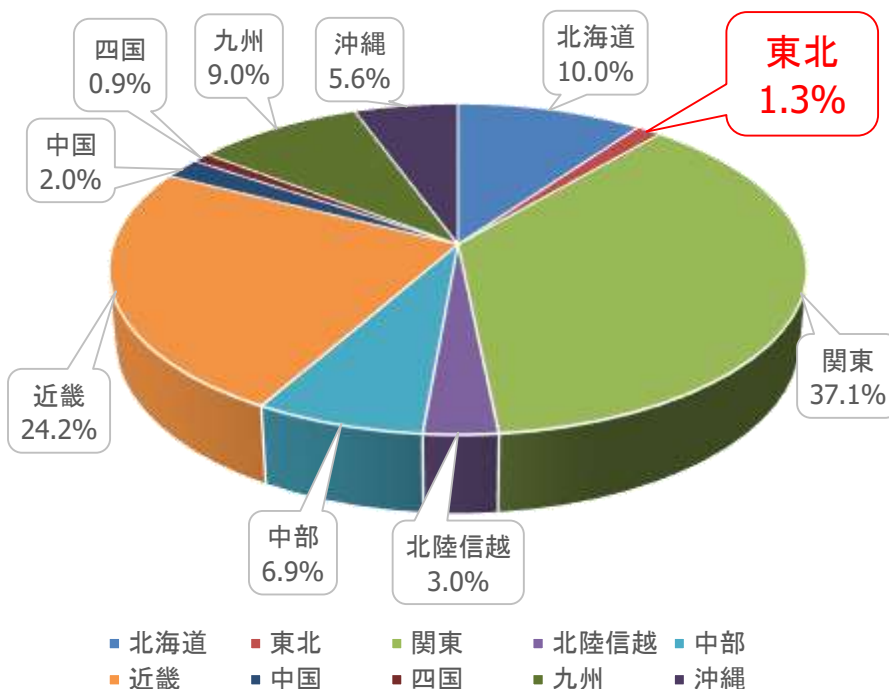
■ 全国の平成29年の外国人宿泊者数(ビジネス目的含む。)は、7,293万人(震災前比+180%)と近年大きく伸びており、これに対して東北地方も97万人(震災前比+91%)と伸びているものの、全国の中では1.3%の割合に留まっている。

全国・東北・宮城の外国人宿泊者数の推移
(従業員10人以上の施設)



出典：観光庁 宿泊旅行統計調査

地区別外国人宿泊者数の割合



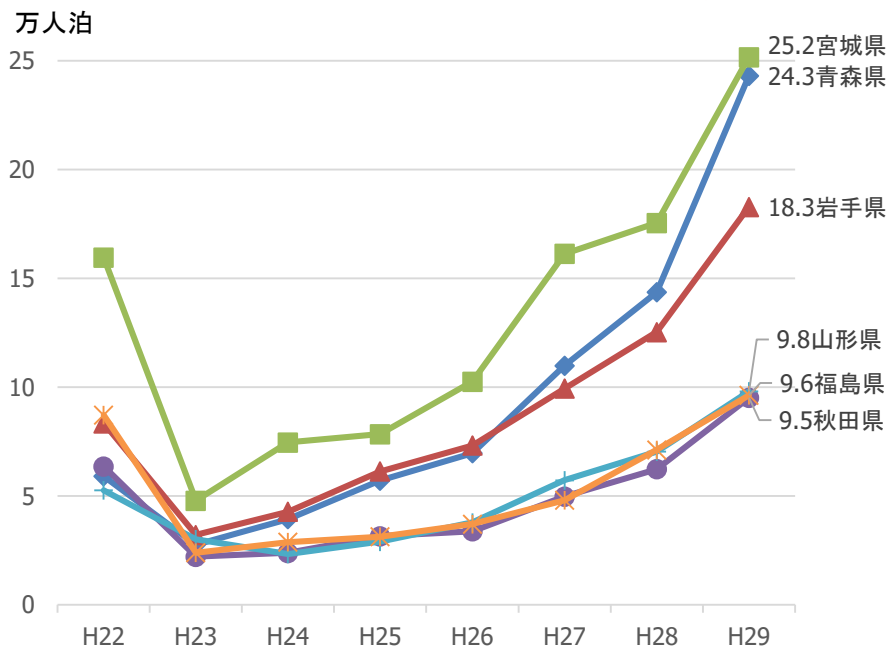
出典：観光庁 宿泊旅行統計調査



東北地方の外国人宿泊者数②

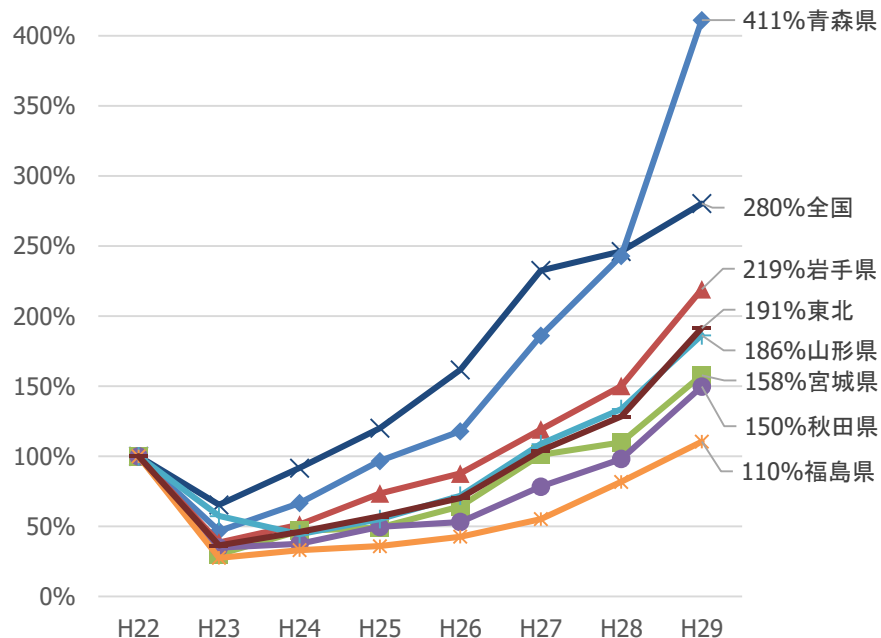
- 東北地方の外国人延べ宿泊者数は近年大きく伸びており、宮城県は平成29年に25.2万人（震災前比+58%）と震災前の水準を上回って伸びている。また、青森県は24.3万人（震災前比+311%）、岩手県は18.3万人（震災前比+119%）と、北海道新幹線の開業（平成28年3月）などを契機に著しい伸びをみせている。
- 特に青森県の震災前からの伸び率は411%と全国の伸び率を大きく上回っている。

東北地方の外国人延べ宿泊者数の推移
（従業者数10人以上の施設）



出典：観光庁 宿泊旅行統計調査

東北地方の外国人延べ宿泊者数の伸び率
（平成22年を100とした場合の指数）



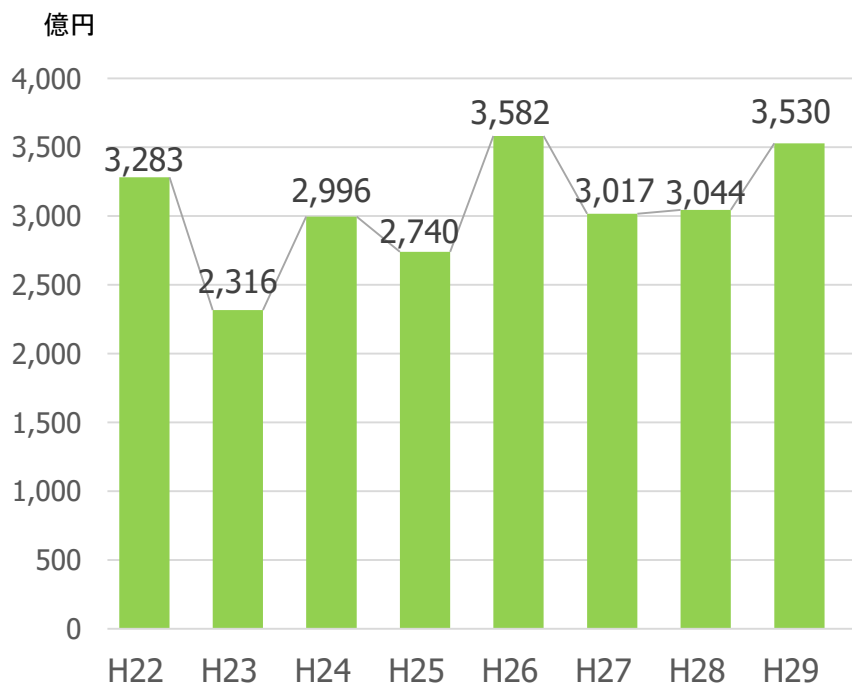
出典：観光庁 宿泊旅行統計調査



観光消費額の推移

- 平成29年の宮城県の観光消費額は3,530億円であり、震災前(平成22年)の108%まで伸びているものの、観光客入込数などの順調な伸びに対して、思うように伸びてきていない。
- 宮城県の一人一回当たりの観光消費額単価は、訪日外国人、国内客(宿泊・日帰り)それぞれの区分において、全国の水準と比べて低くなっている。

宮城県の観光消費額の推移



出典：観光庁 共通基準による観光入込客統計

観光客の消費動向(全国・宮城)

宮城県	観光消費額	人数	1人1回あたりの消費額
訪日外国人	53億円	14.5万人	36,262円
国内客(宿泊)	1,924億円	765万人	25,147円
国内客(日帰り)	1,068億円	2,227万人	4,795円

出典：観光庁 平成28年共通基準による観光入込客統計

全国	観光消費額	人数	1人1回あたりの消費額
訪日外国人	2.3兆円	4,965万人	47,243円
国内客(宿泊)	8.7兆円	3億1,856万人	27,176円
国内客(日帰り)	10.4兆円	16億9,171万人	6,134円

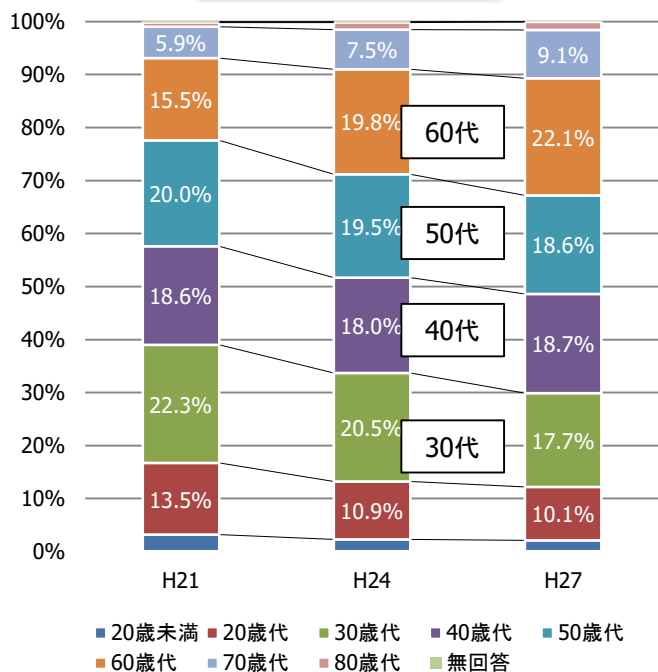
出典：観光庁 平成28年共通基準による観光入込客統計



宮城県観光客の動向（年代・同行者・人数）

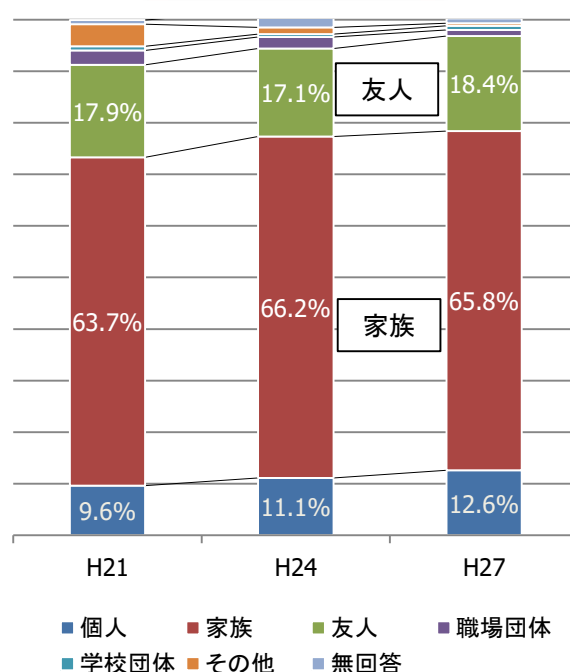
- 年代は、20歳代から60歳代まで幅広い方々が訪れている。平成27年は60歳代が増加した。
- 同行者の種類は、家族旅行が6割超を占める。
- 同行人数は、2人旅行が4割、4～5人旅行が2割を占める。

観光客の年代



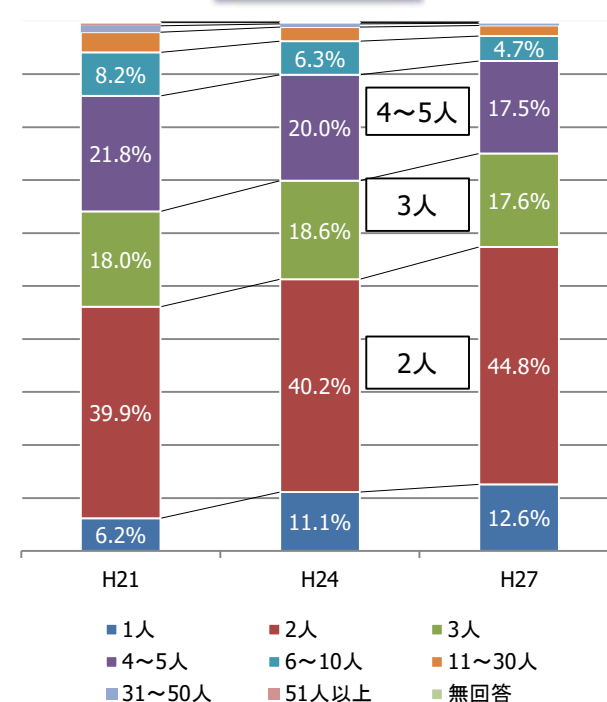
出典：宮城県観光課調べ

同行者の種類



出典：宮城県観光課調べ

同行人数



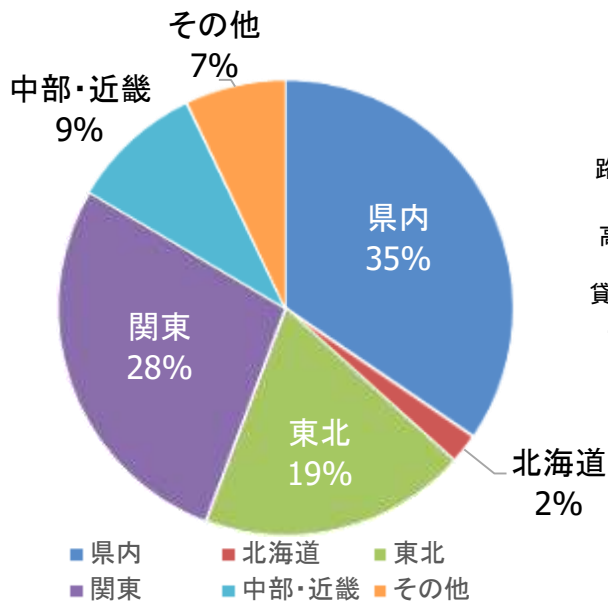
出典：宮城県観光課調べ



観光客の居住地別・交通手段・来訪目的

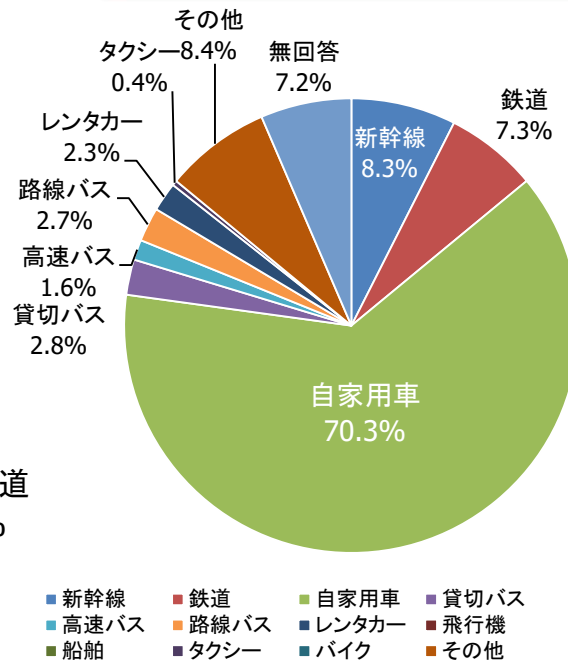
- 宿泊観光客を居住地別に見ると、県内と東北の割合が高く、合わせて5割を超える。
- 主な交通手段は自家用車が最も多く7割を占める。鉄道・新幹線は1割半程度
- 来訪目的は観光が5割を超え、イベントお祭りが約2割弱、買い物が約1割

居住地別宿泊観光客数



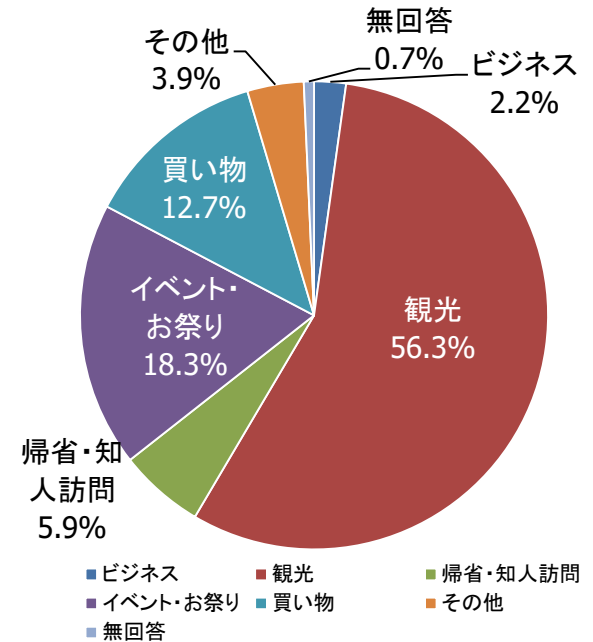
出典：宮城県観光課調べ

主な交通手段(複数回答)



出典：宮城県観光課調べ

来訪目的



出典：宮城県観光課調べ



分類別主要観光地点観光客入込数

- 県内の主要観光地点を分類別に入込数順にまとめると、イベント・行催事は、1位SENDAI光のページェント281万人、2位仙台七夕まつり179万人
- 温泉は、1位秋保温泉(仙台市)116万人、2位鳴子温泉(大崎市)111万人
- 景観・名所・旧跡等は、1位松島海岸(松島町)、2位竹駒神社(岩沼市)170万人

イベント・行催事

順位	名称	入込数
1位	SENDAI光のページェント(12月)	281万人
2位	仙台七夕まつり(8月)	179万人
3位	仙台・青葉まつり(5月)	97万人
4位	定禅寺ストリートジャズフェスティバル(9月)	79万人
5位	みちのくYOSAKOIまつり(10月)	29万人

温泉

順位	名称	入込数
1位	秋保温泉(仙台市)	116万人
2位	鳴子温泉(大崎市)	111万人
3位	遠刈田温泉(蔵王町)	73万人
4位	道の駅「上品の郷」ふたごの湯(石巻市)	30万人
5位	作並温泉(仙台市)	29万人

景観・名所・旧跡等

順位	名称	入込数
1位	松島海岸(松島町)	275万人
2位	竹駒神社(岩沼市)	170万人
3位	Koboパーク宮城(仙台市)(現楽天生命パーク宮城)	164万人
4位	鹽竈神社・志波彦神社(塩竈市)	106万人
5位	仙台城址・瑞宝殿・仙台市博物館(仙台市)	97万人

出典:平成29年 宮城県観光統計概要

